

# カトリック生活ガイドブック

ともにより豊かな命を受けるために



2006 年 4 月

カトリック藤沢教会

## はじめに

この小冊子は、カトリック教会の信仰生活、とくに秘跡などに対する考え方を簡単に説明したものです。皆さまの信仰生活をより豊かにするための一助になれば幸いです。

## ミ サ

初代教会以来、信者は週の始めの日を「主の日」（主日しゅじつ）として一堂に集まりました。一つの地域の信者が目に見えるキリストの体としてともに集まり、神のことばを聴き、キリストの死と復活の神秘にあずかって神の救いのわざを感謝し、そして主の食卓からキリストの体をいただいて皆がキリストにおいて一つに結ばれ、社会での生活に派遣されることは信仰生活の基本をつくる上でとても大切なことです。

なおミサ中に聖体を受ける人は聖体拝領1時間前より固形物、流動物のいずれもとらない小さな断食をしましょう。水や医薬、病人の方の飲食は直前までゆるされています。

### 藤沢教会のミサ

平日 朝9時（毎月第1金曜日は9時30分）

日曜日 午前7時、9時30分、午後6時

英語のミサ 第1・3・5日曜日 午後1時

ベトナム語のミサ 第1日曜日 午後3時30分

スペイン語のミサ 第2日曜日 午後1時

### 湘南台センターのミサ

第2、4土曜日 午後5時

第4日曜日 午前10時（スペイン語）

## 入信の秘跡

### 成人洗礼

原則としてキリスト教入門クラスを終了し、キリストの教えを信じ、確かな意向を持って受洗の希望を表す人に授けられます。普通、成人の入信式は洗礼、堅信、聖体を含むキリスト教入信式の典礼の中で行われます。

## 幼児洗礼

親の両方もしくは一方が信者で、教会の交わりの中で、信仰に基づいた教育を行う意志を持っていると判断される時に授けられます。

洗礼を希望する方は、司祭の承認を受け、事務所に申し込んでください。

## 初聖体

幼児洗礼の子供を持つ親は、子供が小学4年生頃までに初聖体が受けられるよう、特別の理由がない限り小学生になったら教会学校に通わせてください。

## 堅信

洗礼の時に堅信を受けなかった人は、司教様の教会訪問の折に受けられます。

幼児洗礼を受けた人は、青年期に自分の意志で信仰を生きる決意を表し堅信の秘跡を受けることが望まれます。

## ゆるしの秘跡

不幸にして大きな罪を犯した人にとって、「しるし」を通して神のゆるしを与えられることは大きな慰めです。

大きな罪がなくとも、時々静かに人生の歩みをふり返りゆるしの秘跡を受けることは、神に対する信頼の表明でもあります。少なくとも年に1度、復活祭の頃にゆるしの秘跡を受けるようお勧めいたします。

病人や高齢のため教会に来られない方は、司祭を病院や自宅に招いて、この秘跡を受けることができます。

## 病床や自宅での聖体拝領・病者の塗油の秘跡

病気のため、主日、祭日のミサに長期にわたって参加できない時は、教会事務所に申し出て自宅や病院などで聖体を受けることができます。（司祭や聖体奉仕者でなくとも家族の方も聖体を運び授けられます。）

高齢者や、重い病気の人、また大手術を受ける人は、主イエスと共

に苦しみと闘うために司祭から「病者の塗油の秘跡」を受けられます。病人の周囲の方もこれに気を配るようにして下さい。

## 結婚式

結婚する人は、原則として挙式の3ヶ月前までには所属教会の主任司祭に申し出てください。他の教会や、他の司祭に司式を依頼する場合も、この手順を踏んで、手続きおよびその他の指導を受けてください。特に信徒とそうでない人の結婚の場合、信徒がカトリック信者の務めを今後も果たす約束が必要です。なお、どちらかが再婚の場合は主任司祭にそのことを必ず申し出てください。

## 葬儀

信徒の方が亡くなった場合、遺族は必ず教会事務所に知らせ、なるべく早めに打ち合わせをしてください。

教会の葬儀は簡素なもので構いません。棺と遺影と少しのお花があれば十分です。また、葬儀は秘跡ではありませんから、本人や遺族の希望によってはカトリック教会の葬儀でなくても構いません。教会以外で葬儀を行った場合、後日追悼ミサなどをするのが良いでしょう。信徒の家族で洗礼を受けていない人の葬儀を教会で行いたい場合も司祭にご相談ください。

## 所属教会（籍）

日本の教会では受洗教会以外に、所属教会という考え方を大切にしています。教会の司牧的配慮を円滑かつ効果的に受けるために自分の住んでいる地域の教会に属します。

所属している教会がない場合、地域の教会に行って籍を起こしてもらうよう申し出てください。また、幼児洗礼や初聖体を頼んだときにその子どもの籍を起こしてもらう（信者籍台帳に記入する）のと同時に両親などの籍を起こしてもらうことができます。信者籍台帳に記載された内容の秘密は保護されます。

## 転出入の手続

引っ越しなどで他の地域に移るとき、引っ越し先の教会に籍を移します。所属していた教会に連絡し、転出証明書をもらい、転居先地域の教会に転出証明書を提出してください。国外の場合は洗礼証明書などを発行できますので、申し出てください。

## ミサの依頼

誰でも、家族のため、亡くなった方のため、或いはその他の特別な意向＜祈ってほしいこと＞のため、司祭にミサを依頼して祈ることができます。例えば、困難を抱えている人のため、感謝をしたいことのため、祝い事のため、年の始めに神に祝福を願うため、年の終わりに神に感謝するためにミサを依頼することができます。ミサを依頼する時には予め自分の意向と、希望する日時があればその旨を申し出てください。

## 祝福

出産前後の母子、成人式や銀婚式などの人生の節目を迎えた人は、司祭に祝福を依頼することもできます。また、家や自動車、信心用具（十字架像、メダイ、聖像、ロザリオなど）の祝福を司祭に依頼することもできます。

## 献金

神の民であるカトリック信者は、祈り、活動、そして経済的な面で教会を支える使命を持っています。日本の教会は信者数が少ない小さな教会です。少ない信者の献金で教会を維持し、司祭の生活を支えなければなりません。そのためミサの中で行われる献金と、毎月定額を教会に納める維持費という二つの献金を行っています。

## ミサ献金

ミサの中での献金はどこの国でも行われているものです。自分の教会だけに使われるのではなく、日本や世界の教会のさまざまな教会の活動のためにも使われています。

## 維持費（月定献金）

維持費、教会費、月定献金とも呼ばれています。各自の事情をふまえ、収入の1～3%を目安に毎月教会に納付します。教会の維持管理、諸活動、司祭の生活費などのために使われます。なお、藤沢教会では郵便貯金からの自動払いの制度も用意しています。

## その他の献金

結婚式や葬儀、追悼などのミサを依頼した時、洗礼、堅信、初聖体等の秘跡を受けた時、人や家や自動車の祝福などを依頼した時には、分に応じた献金をお願いします。（信心用具の祝福などはその限りではありません。）

## 大斎・小斎について

償いの一つの形で、飲食物の種類、量に制限を加えることです。大斎は1日に1回だけの十分な食事とそのほかに朝ともう1回わずかな食事をとることができ、満60歳に達するまでのすべての成人が守ります。小斎は肉類を食べないことですが、各自の判断で償いの他の形式、とくに愛徳のわざ、信心業、節制のわざの実行をもって替えることができ、満14歳以上の人が守ります。

現在、日本では、大斎、小斎を守る日は、四旬節の灰の水曜日と、聖金曜日の2回です。なお、大斎も小斎も、病気や妊娠などの理由がある人は免除されます。

